

食育だより 11月



練馬区立豊玉第二中学校

日ごとに秋が深まってきました。11月23日は「勤労感謝の日」です。この日はもともと

にいなめさい

「新嘗祭」といって、農作物の収穫に感謝する行事が各地で行われた日でした。新型コロナ禍の今年は、私たちの生活を支えるため、社会の様々な場所で毎日一生懸命働く人たちにあらためて感謝の気持ちが深まった年だったと思います。収穫された農作物と働く人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、毎日の食事を大切にいただきましょう。

あき しんまい しゅうかくの秋「新米」



あき 秋は「実りの秋」、たわわに実った米も、しゅうかくをむかえる季節です。しゅうかくされたばかりの米は、「新米」ともよばれ、お店で出回りをはじめます。新米でいただいたご飯は、かおりもよく、おいしいですね。

こめ 米には、しんまい 新米とひょうじできる期間が決められています。しゅうかくした年の12月31日までに、ふくろづめされた米（げん米またはせい米）だけが、しんまい 新米とひょうじできるのだそうです。



みのりのあき「しゅうかくさい」



「しゅうかくさい」とは、たんぼやはたけでとれたさくもつ（こめや やさいなど）の、しゅうかく（とりいれ）をいわうまつりです。しぜんのめぐみや、しゅうかくできることへの かんしゃの きもちが、こめられています。

あきは、「みのりのあき」ともいわれ、いろいろなさくもつがとれることから、ぜんこく かくちで、さまざまな「しゅうかくさい」が、おこなわれています。

